

帯広少年院



帯広少年院の概要



所在地 : 北海道帯広市
 収容定員 : 96名
 少年院の種類 : 第1種少年院, 第2種少年院
 収容対象 : 主に札幌高等裁判所管内の家庭裁判所において少年院送致決定を受けたおむね14歳以上の男子少年
 規模 : 敷地 75,000㎡

沿革

昭和40年7月 開庁 初等・中等少年院
 昭和52年3月 中等・特別少年院に変更
 6月 生活指導課程施設に指定
 平成5年9月 生活訓練課程(G1),職業能力開発課程(V2)に指定
 平成9年10月 生活訓練課程(G3)追加
 平成24年4月 特殊教育課程(H1,H2)追加
 平成27年6月 新少年院法施行により, 社会適応課程(A2,A4),支援教育課程(N1,N2,N4,N5)に指定
 7月 創立50周年



時間を告げるラッパ(開設当時)

施設の特徴

帯広少年院は、生活指導において、非行や発達上の課題に応じて治療的教育や社会生活のスキルアップのための各種プログラムに力を入れています。

また、職業指導において、陶芸科、木工科、農園芸科等の実習のほか、職業能力訓練センターとして、危険物取扱者、車両系建設機械及びフォークリフト技能講習等の資格取得のための訓練をしています。



地域と連携した取組

帯広少年院では、開設当初から長年にわたり音楽、絵画、書道、剣道等のクラブ活動等で地域の協力者の方々に御指導をいただいたり、体育祭や文化祭、生活意見発表会等の行事などで交流を深めているほか、在院者の出院後の円滑な社会復帰、再非行防止に資するため、地域の関係機関の協力をいただきながら就労体験や社会見学等を行っています。

また、在院者による近隣の公園の花壇清掃や高齢者施設での奉仕活動や、職員を近隣の小中学校へ派遣して薬物乱用防止教育の出前授業を行うなど、地域社会とのつながりを体感できる社会貢献活動に取り組んでいます。



◆薬物やアルコール、ギャンブル、人間関係、買い物、ゲーム、ネットなどへの依存がある。
 ◆依存しているものを止めようとする、強い離脱症状が起きる。

最近のトピック

・令和元年9月上旬に、農園芸科の農場を開放して、近隣の保育園児が収穫体験をしました。園児たちは、小さい体で精一杯力を出してじゃがいも掘りを楽しんでいました。



・平成31年2月及び令和元年9月には、JICA海外研修員の訪問を受け、在院者が緊張しながらも片言の英語で話したり、研修員の皆さんには日本の武道や北国ならではのスポーツを体験してもらうなどして、交流を深めました。

